

様式第五十の二(第 48 条第 6 項関係)

認定事業適応計画の(中間)実施状況の概要の公表

1. 認定の日付
2022 年 4 月 26 日
2. 認定事業適応事業者の名称
株式会社帝国ホテル
3. 認定事業適応計画の実施期間
2022 年 4 月～2027 年 3 月

4. 認定事業適応計画の実施状況

(1) 事業適応計画に係る事業の目標の達成状況

本計画は、国の登録有形文化財ならびに京都市の歴史的風致形成建造物に指定される「弥栄会館」の一部を保存活用したスモールラグジュアリーホテルを京都に新規出店するものである。

2022 年度は、既存建物の解体工事が終了し、新築工事を開始した。本ホテルは保存部分である本棟と、増築部分である北棟から成るが、2022 年度は地質調査等が終了し、北棟の基礎工事に着手した。2023 年度は各階躯体工事が進捗し、下期からは内装モックアップに着手した。2024 年度は、設備工事及び内装仕上げ工事に着手した。

2025 年度は、設備工事、内装仕上げ工事及び外構工事を実施し、2025 年 12 月 3 日に竣工を迎えた。竣工後に備品等の搬入や接客トレーニングを経て、2026 年 3 月 5 日に「帝国ホテル京都」が開業した。

(2) 生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標の達成状況

2026 年 3 月期の ROA は 2.53%と基準年度より 20.29 ポイント改善し順調に向上している。引き続き、2027 年 3 月期の ROA が基準年度である 2021 年 3 月期の ROA を 5.0 ポイント以上上回ることを目標に計画を進める。

(3) 財務内容の健全性の向上を示す目標の達成状況

財務内容の健全性の向上指標については、2026 年 3 月期は有利子負債/CF が 0 倍となり、経常収支比率が 107.9%となった。

(4) 実施した事業適応計画の内容

2025 年度は、設備工事、内装仕上げ工事及び外構工事を実施した。2025 年 12 月 3 日に竣工を迎え、施工費の竣工金支払い実施。竣工後に備品等の搬入や接客トレーニングを経て、2026 年 3 月 5 日に「帝国ホテル京都」が開業した。